

ナビゲーションシステムについて

現在地測位の仕組み

本機ではGPS衛星に加え、準天頂衛星システム「みちびき」、グロナスの電波を受信して、自車の位置を測位します。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、安定した測位を行います。

●グロナス(GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

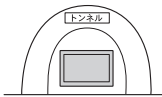
お願い 本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地周辺の地図が表示されるまで、見晴らしの良い場所をしばらく走行してください。

- 現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります。
- 初めてご使用になるときや、初期化してお買い上げ時の状態に戻した場合は、現在地を測位するまで現在地(自車)マークは東京駅周辺を表示します。
- ご自宅や車庫など屋内では、GPS衛星電波が受信しにくく現在地を測位しませんので、見晴らしの良い場所で測位を行ってください。

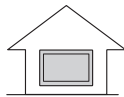
GPSが受信しにくい場所について

次のような場所ではGPS衛星電波が受信しにくくなります。

●トンネルの中



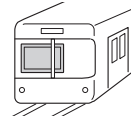
●建物の中



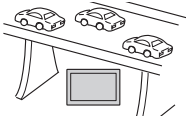
●樹木の間



●自動車以外の乗り物の中



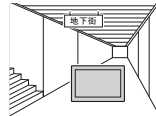
●高速道路の下



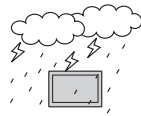
●高層ビルなどの間



●地下街



●曇りや雨など悪天候の場所



※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど)からの電波干渉、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。